

植芝道主褒章受章祝賀会



毎月10日発行
発行所
東京都新宿区若松町17番18号 (郵便番号162 0056)
公益財団法人 合気会
(合気道本部道場)
編集人 可児 晋
電話03 (3203) 9236(代表)
FAX03 (3204) 8145
購読料
1ヵ年 2,500円
郵便振替
00150-0-49527番
ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道歌
天地人
七十五の御姿は
合気となりて
世をば清めつ



1600名でにぎわう会場

千六百名前に新たな前進誓う

植芝守中央合気道主藍綬褒章受章祝賀会は、三月三十日午後十二時半より京王プラザホテル五階、コンコードホールルーム、エミネンスで開催され、千六百名が参集した。開会の辞として祝賀会発起人代表である古藤昇司(公財)合気会常務理事より挨拶(二面別掲)。

の多田宏(公財)合気会本部師範より挨拶(二面別掲)。祝辞として松永光(公財)日本武道館会長・元文部大臣(二面別掲)、島村宜伸(二面別掲)、元文部大臣(二面別掲)、



植芝紘史さん、智央さんから花束が贈呈された

山谷えり子参議院議員(二面別掲)よりそれぞれ挨拶があった。次に多数の来賓紹介が行われた後、磯山博(公財)合気会本部師範より門弟代表として記念品が、植芝紘史さん、智央さんから植芝道主に花束が贈呈された。植芝道主より「ご挨拶申し上げます。本日は年度末の何かとお忙しい中、私の藍綬褒章受章祝賀会にご出席頂き心から御礼申し上げます。有り難うございます。昨年十一月十三日に褒章を拝受し、天皇陛下に拝謁を賜りました。今日こうしてこのように大勢のお祝いをさせていただいておりますこと嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいです。」と謝辞が述べられた。

九鬼家隆熊野本宮大社宮司より乾杯の発声がなされた。



謝辞を述べる道主

つばいでございます。平成十一年道主を継承してはや十五年が経ちました。藍綬褒章受章は、私個人に取りましても合気道界に取りましても大変名誉な褒美を頂戴致したと思っております。今後このことを励みにし、道の中心をぶらさず、道主として合気道の道を守り、広める組織の責任者として精進して参ります。しっかりと逞しく、成長した合気道の本がより豊かに繁るよう、より深く、より強く根を張っていきたくおもっております。そのためにも今日おこし頂きました皆様方のご支援ご協力を賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。本日は皆様本当に有り難うございました」と謝辞が述べられた。

平成25年度理事会開く

(公財)合気会の理事会は、三月二十日午前十一時より本部道場三階で開催された。



植芝守中央道主より「足下の悪い中、また、ご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。心から感謝申し上げます。一年を振り返りまして国内外しっかりと歩んで来ております。これも偏に今日お見えの理事の先生、評議員の先生のご協力、ご支援によるもの、そして多くの会員の方々合気道を理解して共に歩んでいく結果だと思っております。この気持ちを大切に新年を歩んでまいりたいと思っております」と挨拶。

植芝守中央理事長が議長を務めた。

定足数の確認が大澤洋人総務部長よりなされ、議事録署名人は理事会が理事会の議長である植芝理事長と貞國鎮、八塚南海夫両監事が選出された。

議案として、平成二十六年事業計画が植芝充央理事より、平成二十六年年度の収支予算については石原光義専務理事から報告された。

第52回全日本合気道演武大会

第五十二回全日本合気道演武大会は、五月二十四日(土)、東京・千代田区の北の丸公園内の日本武道館で開催される。名が出演。

主催(公財)合気会
後援(公財)文部科学省、東京都、(公財)日本武道館、NHK、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社
協力(公財)全日本合気道連盟

当日は午前十一時開場、正午開会、午後五時閉会の予定。一般の参観者歓迎、入場無料です。

(個人演武)植芝守中央道主、本部道場師範、地域人お一人の気持ちを大切にしているからこそと私がおもっております。そういう意味でもこのような形で皆様と喜びを分かち合えたのは、大変素晴らしいことだと思っております。今日このような素晴らしい日をまた新たな節目と致しまして、道主のもと日々の稽古に励んで参りましょう。本日は本当にありがとうございます。彼は何年もかかって「前座」から「二つ目」となり、その後長く厳しい修業に耐え、真打となった。一見して生真面目な印象であるが、高座に上がって一言しゃべり出すと明るく自由闊達な芸風を持つ嘶家(はなしか)になっていた。客は笑いながらいつの間にか彼の世界に引き込まれて行く。

大祭29日

「合気神社大祭」は四月二十九日(みどりの日)、茨城県笠間市(旧岩間町)の合気神社で執り行われる。午前十一時から大祭、開祖慰霊祭、吉祥丸二代道主慰霊祭と続き、神事後、植芝守中央道主の挨拶、奉納演武が行われ、正午過ぎに祭典は終了する。その後、直会が開かれる。

偲ぶふ会は26日

(公財)合気会は恒例の「開祖・吉祥丸二代道主を偲ぶ会」を四月二十六日の午後七時から本部道場で開催する。

入身転換

京王プラザホテルの大宴会場が華やかな祝賀ムードに包まれた。会場に溢れんばかりに道友が詰めかけた。道主が受章された藍綬褒章は道友の誇りでもある。喜びを分かち合う楽しい集いとなった。

檀上でお祝いの言葉が続いた。英語にも通訳された。世界九十五ヶ国へ広まったことや、中学校武道必修化に伴う指導者の充実を図ることなどが耳に残った。世界への普及は試合を行わない合気道が日本伝来の武道として広く認められた為である。これは歴代道主のご努力の賜である。また中学校での普及は正にこれからと思ふ。道主と共に合気道の普及発展に道友各位が新たな決意を心に誓った祝賀会であった。

ところで、ある落語家の真打昇進披露の落語会に出かけた時のことである。落語の世界では「真打(しんうち)」に昇進すること一人前のプロとして認められるべきだ。彼は何年もかかって「前座」から「二つ目」となり、その後長く厳しい修業に耐え、真打となった。一見して生真面目な印象であるが、高座に上がって一言しゃべり出すと明るく自由闊達な芸風を持つ嘶家(はなしか)になっていた。客は笑いながらいつの間にか彼の世界に引き込まれて行く。

この落語会では名だたる師匠方の名人芸とも言える落語の芸にも魅了された。若い落語家に対して厳しい修業を強いる日本の伝統文化としての落語を守ろうと言う意識込みであろうか。師匠方の真打披露口上はそれだけに辛口の含蓄に富むものであった。

合気道の世界に限らず道を求める者にはたゆまぬ日々の精進が肝要と思つた次第である。

(可児 晋)

5学連が春季講習会

北海道学連

北海道学生合気道連盟春季講習会(主催)公益財団法人合気会、主管)北海道学生合気道連盟)は、三月八日、九日の両日、北海道大学武道場にて小山雄二本部道場指導部指導員の指導で行われた。加盟校五校から五十五名が参加した。

最後に、本講習会主催の公益財団法人合気会の皆様、ご指導下さいました小山先生に深く感謝申し上げます。どうぞ今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(北海道学生合気道連盟委員長 高橋香帆)

東北学連

講習会は後受身・前方回転受身・後方回転受身の三種の受身から始まり、転換法、四方投げ、入り身投げ、一教等、基本技を中心に行われた。その中で本講習会の主旨でもあった新入生の指導方針の一環として新入部員に無理なく、また怪我をさせることなく指導を行う為の注意点が指導された。

一日目の稽古は、前日の稽古を踏まえたうえで、入り身投げや呼吸投げ、横面打ちの正しい打ちこみ方の指導方法を実際に全員で行いながら、ご指導いただきました。

二日目の稽古は、前日の稽古を踏まえたうえで、入り身投げや呼吸投げ、横面打ちの抜き方など基本技やそれにつながる動きを指導いただきました。最後に呼吸法で稽古が終了しました。その後、先生と参加者などで集合写真を撮影し、大きなけがもなく、無事に全日程を終了する事が出来ました。(東北学生合気道連盟委員長 浅見慶志朗)

一日目は、安全な技の投げ方、後受身や一教の受身を中心に学んだ。新入生に怪我をさせないために、一つ一つ投げ方や受身を丁寧に指導いただいた。先生が仰った「新入生に怪我をさせないために上級生がしっかり指導すること」という言葉は、一番印象に残りました。

二日目では横面打ちの抜きや肩取り二教等、四級を中心にした技また一日目の受身の復習をご指導いただきました。一から教わることで、参加者は自分の合気道を見直すことも良い機会になりました。これから入部してくる新入生への心構えができていくように見受けられました。今講習会で参加者は今後の新入生への指導方法を多く学ぶことができ、今後の指導に役立てていくと思われました。講習会は盛況に幕を閉じました。(関東学生合気道連盟委員長 鈴木寛也)

三月十七日、十八日の両日にわたり、大阪府吹田市にある洗心館武道場にて、関西学生合気道連盟春季講習会が、「上級生としての指導力、技の向上を目指す」という主旨で、開催され、加盟十七校から、約百二十名が参加した。

稽古は、片手取り転換から始め、呼吸法、呼吸投げ、一教、入り身投げ、四方投げ、小手返し、回転投げの基本技に基づき、姿勢と、力まずに柔らかく全身を動かすことを強調して行なわれた。特に、各大学とも四月より新入生を迎えることを鑑み、安全な受け身の取り方、相手の技に対する受け身の取り方を、重視して、稽古指導を行なった。

五日の両日、広島県立総合体育館でおこなわれた。参加者は九校、人数は約四十名が参加し、初日の講習会では、新入生が合気道を楽しく続けていくにはどうしたらいいかなど、新入生の気持ちを考えてからの指導方法を確認した。二日目では、新入生への受身の取り方、動きに慣れさせてきた時の指導法の変化などを確認。又、後半では大学同士の交流を深めるため、他大学と汗を流す稽古を行なった。

十六日は、総社市きびじアリーナにて、四十五年記念演武大会が開催された。開会式では総社市・片岡聡一社市長が「壬生川先生の四十五周年を祝う大会が我が総社市で開催され、皆様をお迎えできたことを大変幸せに感じます」と挨拶。演武は代表者として小生、銀河学院中等学校、関西学院大学、傘下大学、一般部代表、道場長代表、古屋市東区のウィルあいちで執り行われ、小牧合気会の久木田一郎師範が日頃の活動を讃えられ、功労賞を受賞されました。

愛知県で多年にわたりスポーツの振興に功績のあった人を表彰する、平成二十五年公益財団法人愛知県体育協会スポーツ功労賞の表彰式が、三月十四日、名



北海道学連で指導する小山指導員

一日目の稽古は、基本的な体捌きとして転換から始まり、相手との接点を面で捉えて導く事と重心移動の重要性をご指導いただきました。

二日目の稽古は、前日の稽古を踏まえたうえで、入り身投げや呼吸投げ、横面打ちの抜き方など基本技やそれにつながる動きを指導いただきました。最後に呼吸法で稽古が終了しました。その後、先生と参加者などで集合写真を撮影し、大きなけがもなく、無事に全日程を終了する事が出来ました。(東北学生合気道連盟委員長 浅見慶志朗)

一日目は、安全な技の投げ方、後受身や一教の受身を中心に学んだ。新入生に怪我をさせないために、一つ一つ投げ方や受身を丁寧に指導いただいた。先生が仰った「新入生に怪我をさせないために上級生がしっかり指導すること」という言葉は、一番印象に残りました。

二日目では横面打ちの抜きや肩取り二教等、四級を中心にした技また一日目の受身の復習をご指導いただきました。一から教わることで、参加者は自分の合気道を見直すことも良い機会になりました。これから入部してくる新入生への心構えができていくように見受けられました。今講習会で参加者は今後の新入生への指導方法を多く学ぶことができ、今後の指導に役立てていくと思われました。講習会は盛況に幕を閉じました。(関東学生合気道連盟委員長 鈴木寛也)

三月十七日、十八日の両日にわたり、大阪府吹田市にある洗心館武道場にて、関西学生合気道連盟春季講習会が、「上級生としての指導力、技の向上を目指す」という主旨で、開催され、加盟十七校から、約百二十名が参加した。

稽古は、片手取り転換から始め、呼吸法、呼吸投げ、一教、入り身投げ、四方投げ、小手返し、回転投げの基本技に基づき、姿勢と、力まずに柔らかく全身を動かすことを強調して行なわれた。特に、各大学とも四月より新入生を迎えることを鑑み、安全な受け身の取り方、相手の技に対する受け身の取り方を、重視して、稽古指導を行なった。

五日の両日、広島県立総合体育館でおこなわれた。参加者は九校、人数は約四十名が参加し、初日の講習会では、新入生が合気道を楽しく続けていくにはどうしたらいいかなど、新入生の気持ちを考えてからの指導方法を確認した。二日目では、新入生への受身の取り方、動きに慣れさせてきた時の指導法の変化などを確認。又、後半では大学同士の交流を深めるため、他大学と汗を流す稽古を行なった。

十六日は、総社市きびじアリーナにて、四十五年記念演武大会が開催された。開会式では総社市・片岡聡一社市長が「壬生川先生の四十五周年を祝う大会が我が総社市で開催され、皆様をお迎えできたことを大変幸せに感じます」と挨拶。演武は代表者として小生、銀河学院中等学校、関西学院大学、傘下大学、一般部代表、道場長代表、古屋市東区のウィルあいちで執り行われ、小牧合気会の久木田一郎師範が日頃の活動を讃えられ、功労賞を受賞されました。

愛知県で多年にわたりスポーツの振興に功績のあった人を表彰する、平成二十五年公益財団法人愛知県体育協会スポーツ功労賞の表彰式が、三月十四日、名

北総、30周年記念演武大会開く

北総合気会創立三十周年記念演武大会は、三月二日、植芝守央道主をお迎えして、成田市体育館にて行われた。参加団体は十七道場と海外から五か国、約二百名。

演武会は午後一時より始まり、第一部国内外の道場演武、第二部北総合気会山田博信師範の演武、続いて自由が道場で山田師範と共に稽古を積んだ窪田育弘師

範、坪井威樹師範、亀井格一師範の師範演武、第三部山田師範の恩師である多田宏本師範の自由演武が行われた。

恩師である多田宏先生、また多くの方々に来ていただき誠にありがとうございます。芝道主は「山田師範が自由が丘道場で出会った合気道を情熱を持って取り組んできた事、また会員の皆様が丸とあって協力したというところがこの輝かしい三十年という伝統を作り上げたと思えます」と述べ、多田師範は「みなさん一生懸命協力されて今日を迎えられたと思ひ、大変うれしく思

います」と述べた。その後乾杯に移り、祝賀会は和気藹々とした雰囲気の中行われた。

合気道正武会、壬生川苑一主席師範道場開設四十五周年記念行事は、三月十五、十六日に、岡山県倉敷市、総社市に植芝充央本部道場長代行を招き開催された。また、全日本合気道連盟磯山博顧問、尾崎崎理事長、五十嵐道場・五十嵐和男道場

長、関西学院大学合気道部長、関係各位のほか、片岡聡一総社市長にご臨席頂いた。十五日は、倉敷国際ホテルに百十一名の参集のもと記念祝賀会を開催。植芝充央本部道場長代行より「壬

生川苑一師範のお人柄と合気道に対する強い情熱によって、四十五年間という長い歴史がつくり上げられたと思ひます。この情熱をさらに将来に向けてしっかりと

古屋市東区のウィルあいちで執り行われ、小牧合気会の久木田一郎師範が日頃の活動を讃えられ、功労賞を受賞されました。

愛知県で多年にわたりスポーツの振興に功績のあった人を表彰する、平成二十五年公益財団法人愛知県体育協会スポーツ功労賞の表彰式が、三月十四日、名



山田師範の演武

われた。そして最後に、植芝守央道主による総合演武で大会は締めくくられた。演武大会後、祝賀会が行われ山田博信師範は本日、合気道道主植芝守央先生、

恩師である多田宏先生、また多くの方々に来ていただき誠にありがとうございます。芝道主は「山田師範が自由が丘道場で出会った合気道を情熱を持って取り組んできた事、また会員の皆様が丸とあって協力したというところがこの輝かしい三十年という伝統を作り上げたと思えます」と述べ、多田師範は「みなさん一生懸命協力されて今日を迎えられたと思ひ、大変うれしく思

います」と述べた。その後乾杯に移り、祝賀会は和気藹々とした雰囲気の中行われた。

合気道正武会、壬生川苑一主席師範道場開設四十五周年記念行事は、三月十五、十六日に、岡山県倉敷市、総社市に植芝充央本部道場長代行を招き開催された。また、全日本合気道連盟磯山博顧問、尾崎崎理事長、五十嵐道場・五十嵐和男道場

長、関西学院大学合気道部長、関係各位のほか、片岡聡一総社市長にご臨席頂いた。十五日は、倉敷国際ホテルに百十一名の参集のもと記念祝賀会を開催。植芝充央本部道場長代行より「壬

生川苑一師範のお人柄と合気道に対する強い情熱によって、四十五年間という長い歴史がつくり上げられたと思ひます。この情熱をさらに将来に向けてしっかりと

古屋市東区のウィルあいちで執り行われ、小牧合気会の久木田一郎師範が日頃の活動を讃えられ、功労賞を受賞されました。

関西学連

講習会は後受身・前方回転受身・後方回転受身の三種の受身から始まり、転換法、四方投げ、入り身投げ、一教等、基本技を中心に行われた。その中で本講習会の主旨でもあった新入生の指導方針の一環として新入部員に無理なく、また怪我をさせることなく指導を行う為の注意点が指導された。

一日目の稽古は、前日の稽古を踏まえたうえで、入り身投げや呼吸投げ、横面打ちの正しい打ちこみ方の指導方法を実際に全員で行いながら、ご指導いただきました。

二日目の稽古は、前日の稽古を踏まえたうえで、入り身投げや呼吸投げ、横面打ちの抜き方など基本技やそれにつながる動きを指導いただきました。最後に呼吸法で稽古が終了しました。その後、先生と参加者などで集合写真を撮影し、大きなけがもなく、無事に全日程を終了する事が出来ました。(東北学生合気道連盟委員長 浅見慶志朗)

一日目は、安全な技の投げ方、後受身や一教の受身を中心に学んだ。新入生に怪我をさせないために、一つ一つ投げ方や受身を丁寧に指導いただいた。先生が仰った「新入生に怪我をさせないために上級生がしっかり指導すること」という言葉は、一番印象に残りました。

二日目では横面打ちの抜きや肩取り二教等、四級を中心にした技また一日目の受身の復習をご指導いただきました。一から教わることで、参加者は自分の合気道を見直すことも良い機会になりました。これから入部してくる新入生への心構えができていくように見受けられました。今講習会で参加者は今後の新入生への指導方法を多く学ぶことができ、今後の指導に役立てていくと思われました。講習会は盛況に幕を閉じました。(関東学生合気道連盟委員長 鈴木寛也)

三月十七日、十八日の両日にわたり、大阪府吹田市にある洗心館武道場にて、関西学生合気道連盟春季講習会が、「上級生としての指導力、技の向上を目指す」という主旨で、開催され、加盟十七校から、約百二十名が参加した。

中四国学連

講習会は後受身・前方回転受身・後方回転受身の三種の受身から始まり、転換法、四方投げ、入り身投げ、一教等、基本技を中心に行われた。その中で本講習会の主旨でもあった新入生の指導方針の一環として新入部員に無理なく、また怪我をさせることなく指導を行う為の注意点が指導された。

一日目の稽古は、前日の稽古を踏まえたうえで、入り身投げや呼吸投げ、横面打ちの正しい打ちこみ方の指導方法を実際に全員で行いながら、ご指導いただきました。

二日目の稽古は、前日の稽古を踏まえたうえで、入り身投げや呼吸投げ、横面打ちの抜き方など基本技やそれにつながる動きを指導いただきました。最後に呼吸法で稽古が終了しました。その後、先生と参加者などで集合写真を撮影し、大きなけがもなく、無事に全日程を終了する事が出来ました。(東北学生合気道連盟委員長 浅見慶志朗)

一日目は、安全な技の投げ方、後受身や一教の受身を中心に学んだ。新入生に怪我をさせないために、一つ一つ投げ方や受身を丁寧に指導いただいた。先生が仰った「新入生に怪我をさせないために上級生がしっかり指導すること」という言葉は、一番印象に残りました。

二日目では横面打ちの抜きや肩取り二教等、四級を中心にした技また一日目の受身の復習をご指導いただきました。一から教わることで、参加者は自分の合気道を見直すことも良い機会になりました。これから入部してくる新入生への心構えができていくように見受けられました。今講習会で参加者は今後の新入生への指導方法を多く学ぶことができ、今後の指導に役立てていくと思われました。講習会は盛況に幕を閉じました。(関東学生合気道連盟委員長 鈴木寛也)

三月十七日、十八日の両日にわたり、大阪府吹田市にある洗心館武道場にて、関西学生合気道連盟春季講習会が、「上級生としての指導力、技の向上を目指す」という主旨で、開催され、加盟十七校から、約百二十名が参加した。

国際セミナーに百名

第二十六回国際文化セミナーが三月七日から九日まで、国際武道大学と日本武道館研修センターにて行われ、日本在住の外国人を中心に約百名が参加した。本セミナーには現代武道九道から講師が派遣され、合気道では専門委員として金沢威本部道場指導部師範、助手として森智洋本部道場指導部師範が派遣された。

初日の開講式では三藤芳生(公財)日本武道館理事・事務局長が「このセミナーと繋げて頂きたいと思ひます」と祝辞を賜り、磯山師範、尾崎師範、五十嵐師範も挨拶下さった。壬生川苑一主席師範は、「四十五年間『現点に生きる』をモットーにここまで来られたのも、開祖翁先生の御導きのおかげであります」と謝辞を述べた。

十六日は、総社市きびじアリーナにて、四十五年記念演武大会が開催された。開会式では総社市・片岡聡一社市長が「壬生川先生の四十五周年を祝う大会が我が総社市で開催され、皆様をお迎えできたことを大変幸せに感じます」と挨拶。演武は代表者として小生、銀河学院中等学校、関西学院大学、傘下大学、一般部代表、道場長代表、古屋市東区のウィルあいちで執り行われ、小牧合気会の久木田一郎師範が日頃の活動を讃えられ、功労賞を受賞されました。

愛知県で多年にわたりスポーツの振興に功績のあった人を表彰する、平成二十五年公益財団法人愛知県体育協会スポーツ功労賞の表彰式が、三月十四日、名

古屋市東区のウィルあいちで執り行われ、小牧合気会の久木田一郎師範が日頃の活動を讃えられ、功労賞を受賞されました。

愛知県で多年にわたりスポーツの振興に功績のあった人を表彰する、平成二十五年公益財団法人愛知県体育協会スポーツ功労賞の表彰式が、三月十四日、名

明大が35周年

明治大学体同連合気道同志会は、今年度、創部三十五年の節目を迎えることができました。これを記念し、OB会を幹事として、二月二十二日、新宿にある小田急ホテルセンチュリーサザンタワーにて、創部三十五年記念式典を開催致しました。この式には、公益財団法人合気会より、日々ご指導頂いております小林幸光師範を迎え、OB・O

からシニアにおけるスポーツ振興の進展に努める中、現在、小牧合気会では愛知県内外に百人を超える門下生を有し、未就学児童から七十代までの老若男女が稽古日に汗を流しつつ「日常生活に活かせる合気道」を

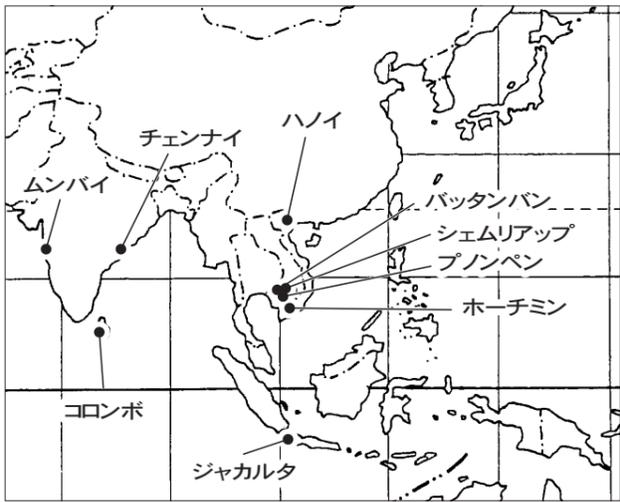
別討論会では「国際化した武道」をテーマにその課題と展望について活発な議論がなされた。

最終日には早坂義文金硬流唐手沖繩古武術流儀継承者の指導による講義と体験稽古が行われ、参加者は皆、貴重な経験をしました。

本セミナーは例年より開催期間を絞り、内容を濃くして参加者が有意義な時間を過ごすことが出来るようにとの配慮が各所になされていた。おかげで参加者は皆、満足そうにセミナーを楽しんでいるようであった。

G、現役学生を含む約七十名の方にご出席頂き、盛大な式となりました。当部は、設立当初の一名から始まり、三十五年間空席のできることなく部員を増やし、現在では現役学生総勢二千三百名、毎週木曜日には、公益財団法人合気会本部道場より小林幸光師範をお招きし、ご指導を頂くまでになっております。通常稽古は毎週月曜日から金曜の午後四時から、明治大学リパティタワーにて行っており、このほか、春・夏の合宿、寒稽古と、厳しいながらも明るく活動をしております。

東南アジア巡回指導



平成二十五年度、カンボジア巡回指導は二月二十日より三月四日まで、本部道場指導部・難波弘之師範と日野昭正指導員が派遣された。

カンボジア3都市



勢揃いした参加者と難波師範

二時間の稽古を五回、少年部を対象に二時間の稽古を二回、市内中心部にあるオリンピックセンター体育館内で行った。一般の稽古で難波師範は、片手取りと諸手取りを中心に互いの繋がりを指導。呼吸法や第一教を繰り返して、指先の動きや身体の中から動くことを強調した。平日は現地シニアボランテアの金子信一氏やカンボジア合気道協会・ラポート会長の指導する稽古場より約十五名が参加。有級者の多い中、基本動作の確認を徹底。二十二・二十三日の週末にかけてはベトナム・ホーチミンの道場より十三名の有級者が参加し、基本動作からの応用や受身の取り方等、内容の濃い稽古となった。二十三日の午後には難波師範による昇段審査が行われ、二名が見事、初段に合格。

◆首都プノンペン◆

二月二十日から二十七日朝まで、カンボジアの首都プノンペンに滞在し、一般会員を対象に一時間半から

スリランカ・インド

二月二十日から三月四日まで、伊藤眞師範と私(里館)は、スリランカのプノンペン、インドのチェンナイ・ムンバイを巡回し、稽古指導を行った。

成田空港からスリランカの首都コロンボまで約十時間のフライトを経て、スリランカ合気道協会設立者、米ノ井師範と共にコロンボ空港で同協会会員からの歓迎を受けた。スリランカ合気道協会は現在アシット四段を代表として約五十名の会員が稽古をしている。コロンボのYMCA

を中心にしてセキユリティの人員等約六名が、特区内地設道の稽古に参加した。少年部では、地元ウエストランドインターナショナルスクールと孤児等を保護し教育を施すするフランクフルトNGO法人「ソクサバイ」より、それぞれ約四十名の小中学生と稽古を行った。準備体操や受身から始まり、基本技を稽古。難波師範はしっかりと体捌きをするように指導。正座や大きな声で挨拶をする姿勢から現地指導者の日頃の良き指導が伺えた。

また二十一日から二十三日まで在カンボジア日本国大使館主催の日本文化を紹介する「絆」フェスティバルがカンボジアジャパンセンターで開催された。二十日には同センター内アンコールキズナホールで日本とカンボジアの武道の演武会が行われた。合気道、空手道、ユウトクロン・コム(カンボジア古武道)、剣道の順で演武をし、合気道はカンボジア合気道協会を中心に約三十名が参加。金子氏による合気道の説明演武に始まり、少年部による基本動作、一般会員による稽古風景や基本技・応用技演武、最後に難波師範による師範演武によって締めくくられた。会場は立ち見の観客で埋め尽くされ大盛況であった。表敬訪問として、二十一日に在カンボジア日本国大使館・隈丸優次特命全權大使に謁見。隈丸大使より文化交流は政府としてきつかけ作りや後押しはできるもの、民間レベルで行ってこそ、真に交流できたと言えます。時間はかかると言いますが、カンボジアの方々が主として日本文化の活動ができるよう期待を込めて、今後も活躍を宜しくお願ひします」と激励の言葉を頂いた。また、二十四日には現地教育スポーツ省・ウック・セティ・チートスポート総局長を表敬訪問。ラポート会長と金子氏と今後の合気道普及について意見を交わし、大いに協力することを約束した。

◆シムリアップ◆
二月二十七日と三月一日から三日まで、アンコールワットで有名なシムリアップに滞在した。シムリアップではFBI(S・ファイチャープライトインターナショナルスクール)での合気道授業二回と、ユースセンターを借りて行われている一般会員を対象とした稽古二回を行った。

◆バッタンバン◆
二月二十八日はシムリアップより車で四時間ほどのバッタンバンに滞在し、バッタンバン大学合気道部の指導を行った。普段は週一回、森氏の指導によって活動しており、今回の稽古にはほぼ全員となる五名が参加し、難波師範の指導を受けた。

来たことの意味は大きい。二十八日チェンナイからムンバイに移動した。ムンバイ合気道クラブの代表ラ氏は、剛柔流空手の修行者で、現在中国在住のリーバーマン氏(五段)がムンバイ滞在中に指導を受け、その後デリーのバリストス五段の指導を受けながら同クラブを主催している。インターナショナルスクール・ボンベイ体育館にて、三日間二時間の稽古を四回行い約八十五名が参加した。デリーやドバイ、ロシアから有級者の参加者もあり、充実した稽古が行われた。

▽入江嘉信指導部師範は、四月十日から十五日まで、アイルランドの講習会に派遣された。
▽佐々木貞樹指導部師範は、四月十日から十五日までロシアの講習会に派遣された。
▽菅原繁指導部師範は、四月十七日から二十一日まで香港の講習会に派遣された。
▽桂田英路指導部師範は、四月十五日から二十日までロシアの講習会に派遣された。
▽関昭三指導部師範は、四月三十日から五月五日までポランドの講習会に派遣される。

◇本部より◇

▽大澤勇人指導部師範は、四月十日から十五日までスペインの講習会に派遣された。
▽入江嘉信指導部師範は、四月十日から十五日まで、アイルランドの講習会に派遣された。
▽佐々木貞樹指導部師範は、四月十日から十五日までロシアの講習会に派遣された。
▽菅原繁指導部師範は、四月十七日から二十一日まで香港の講習会に派遣された。
▽桂田英路指導部師範は、四月十五日から二十日までロシアの講習会に派遣された。
▽関昭三指導部師範は、四月三十日から五月五日までポランドの講習会に派遣される。



指導する伊藤師範

コロンボからチェンナイへはわずか一時間足らずのフライト。チェンナイ合気道クラブは、今回同行頂いた、住友商事で現在ベトナム駐在の大塚師範が、数年前チェンナイ駐在中に立ち上げ、同クラブ代表のクリシュナムリテイ氏を始めほぼ全員が初級者である。稽古は日印商工会議ビル内のフロアにマットが二十枚程度敷かれた道場で行われ、同会員と、柔道や空手の経験者を含め二十五名が参加した。三日間で二時間の稽古を五回、基本的な体捌き、受け身を中心に指導を行い、基本技を繰り返し稽古の結びつきも強い。合気道修行者はまだまだ少ないが、武道への関心は非常に高く、今回二つの拠点が

立し、合気道オブチェンナイとして昨年十二月より活動を始め、二十六日に講習会・演武大会が行われた。在チェンナイ総領事の中野夫妻、報道関係者を含め百五十名の観衆が来場し、少年部、大塚師範、最後に伊藤師範が演武を行った。演武後の講習会には約三十名が参加し、一時間汗を流した。南インドのチェンナイは、インドの伝統文化を色濃く残す地域であり、人々の結びつきも強い。合気道修行者はまだまだ少ないが、武道への関心は非常に高く、今回二つの拠点が

最後に審査が行われ、初段四名が合格した。ラ氏が剛柔流五段という事も多いが、武道に対する関心は非常に高く、素直に、また楽しんで稽古に参加していた。今回ラ氏を含め新たに初段が四名誕生し、今後の普及にも大きな弾みがつくものと思われる。

ベトナム(ホーチミン)

私(森)は三月二十八日から三月三日までベトナム・ホーチミン市を合気道巡回指導のため訪問した。ホーチミン市はベトナム最大の都市である。同地で合気道はベトナム戦争以前から行われており、東南アジアでは有数の歴史を持つ地域である。

セミナーは金土日の三日間で二時間のクラスが五回行われた。参加者は約二百名。暑い中、熱心な会員がしっかりと稽古をしていた。多くのものを吸収しようとする意欲が感じられる態度

エネルギーを感じる旅であった。(本部道場指導部師範 森智洋)



森師範の転換

私(桜井)は三月四日から二十七日まで、ヴェトナム・ハノイ市へと巡回指導に赴いた。昨年引き続き二回目をなす。空港ではハノイ合気会代表のフイ・ホン・ラン氏が迎えてくれた。

三日間で、二時間の稽古を計四回、ハノイトレーニングセンターにある体育館で行った。参加者はハノイ合気会と修道館から各回二十から百名が参加した。

ベトナム(ハノイ)

若い世代が多く、それぞれが稽古の意味を考え、熱心に取り組んでいた。また小学生・中学生も多く参加しており、これからの成長が大変楽しみである。(本部道場指導部師範 桜井寛幸)

インドネシア

私(佐々木)は三月十三日から十七日まで、本部道場によるアジア巡回講習会の一環としてインドネシア共和国ジャカルタを訪問し、同地で稽古と昇段審査を行った。



佐々木師範の入り身

インドネシア全土から約二百名の会員が集結した。稽古は十四日から十六日の三日間に亘って行われ、参加した会員達は団体相互の垣根を越えて活気に満ちた稽古を繰り返していた。十六日の午後には昇段審査も行われ、初段を九名、二段を三名、参段を一名、そして四段を一名が受

ルーマニア春季講習会に250名

私(小林)は平成二十六年三月十一日から一七日まで、ルーマニア合気会(M・ドリン五段)の春季講習会に派遣された。場所は例年と同じクルージュ・ナポカ市にある、日本文化センター内の道場であった。



小林師範の呼吸法

木曜日から日曜日まで、一日四回の講習で二回(二時間半)を私が指導、初心者クラスをウクライナのイゴール師範、ブルガリアのラ

ド師範、同マホメッド師範が指導にあたった。講習にはルーマニアをはじめ、ブルガリア、ウクライナ、英国、ポーランド、ギリシャ、モルドバ、イタリア等から約二百五十名の会員が参加した。期間中昇段審査が行われ、全員が合格した。

ハンガリー講習会に150名超

私(栗林)は三月十三日から十八日まで、ハンガリー合気会(シヤンダル・カラシ会長)主催講習会指導のため、首都ブダペストを訪問した。今年で六度目のブダペストであり、一年ぶりに会う会員達も顔馴染みが多くなってきた。

講習会には例年通りハンガリー国内の道場はもとより、近隣のスロバキア、オーストリア、ドイツ、更に今年はロシア、アゼルバイジャンからも参加者があり、土・日の稽古は百五十名を超す人々で三百畳敷きの道場もいっぱいであった。

今年もハンガリー国内では、数多くの講習会が開催されるとの事であり、指導者達自身が積極的に学ぶ姿勢を持ち、今後ますますハンガリーの合気道が技術的にも充実し、更に互いに協力し合って一つにまとまり、大いなる発展をすることを期待する。(本部道場指導部師範 栗林孝典)

英・エジンバラであざみ会の講習会

英国スコットランドのエジンバラであざみ会(代表ニール・ブラックネル五段)主催の講習会が三月一日、二日の両日、オリンピックセンター柔道場で行われた。

同会会員及び英国国内やリトアニアから八十一名の参加で、菅原繁本部道場指導部師範が指導をした。講習会は一日約三時間の日程で行われ、基本の体捌きや受身の取り方を中心に進められた。今回で六年目となる講習会は、中堅とな

露・アナパで少年部の春季講習会 私(藤巻)は、三月二十日から二十六日までロシア・アナパで開催された央心館(カチャン代表)主催の少年部春季講習会の指導に派遣された。

講習会前日にはエジンバラ道場で夕方六時からの稽古にも同師範が指導を行い、約五十名の会員が集まった。

その後の親睦会では、各々遠方から来た指導者、父兄、子どもたちが夜遅くまで語り合い、大いに交流を深め合っていた。(本部道場指導部師範 藤巻宏)

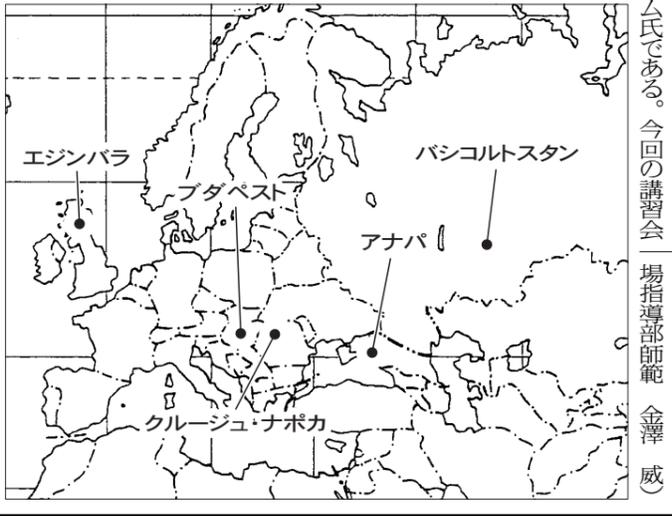
露・バシコルトスタン共和国で講習会 私(金澤)はバシコルトスタン共和国合気会連盟の要請により、三月十四日から十六日までロシア連邦・バシコルトスタン連盟有段者クラス、子供クラス、バシコルトスタン連盟有段者クラスが行われた。一般クラスは六回行われ毎回百二十名、有段者クラス六回行われ毎回四十名、子供クラス一回二十名、連盟有段者クラスが三回行われ十名が参加した。今回初めて連盟の有段者クラスが行われた。

エカテンブルクなど五百キロほど離れた地域から七十五名が集まり、全体で約二百名が参加した。講習会では、一般クラス、有段者クラス、子供クラス、バシコルトスタン連盟有段者クラスが行われた。一般クラスは六回行われ毎回百二十名、有段者クラス六回行われ毎回四十名、子供クラス一回二十名、連盟有段者クラスが三回行われ十名が参加した。今回初めて連盟の有段者クラスが行われた。

モスクワ、ヨシカルオラ、ウリヤのスク、クラスナダ、アナパ、バラックから集まってきており、全体では八十六名の参加となった。最終日には昇段審査がお行われ、緊張のなかなほは全員の子供が受験した。

この講習会にはバシコルトスタン国内のウファをはじめとする各都市から約百二十五名、またバシコルトスタン以外にもモスクワ、サンクトペテルスブルク、またザマラ、チェレピンスク、カザン、イシヤースク、

今回連盟の代表のバレリー・セレントプ氏が諸事情により講習会の参加が不可



にも合気道の授業を履修している生徒が四十名ほど参加していた。最終日には昇段審査が行われ、今回活躍してくれたバディム氏とミーシャ氏の二名が三段に昇段した。今後、彼らがバレリー氏と共にこの連盟を中心になり引っ張って行ってくれるものと期待している。(本部道場指導部師範 金澤 威)

れ、昨年創立三十周年を迎えている。今年の本部道場鏡開き式推薦昇段ではマン・スール氏がYIAによって参段に推薦された。今回は同氏が高齢で病氣療養中のため、直接自宅に赴き免状を手渡しした。同氏は大変感激した様子で「このような有難いものを頂いたらまた稽古を始めない訳にはいかないです」と日本語で感謝の意を述べていた。

十七日夜、同国における合気道の更なる発展を祈りつつ、帰国の途に就いた。(本部道場指導部師範 佐々木貞樹)

各道場の昇段者

2月15日～
3月14日
(公財)合気会登録

【四段】

◆本部道場＝大塚俊明、セバスチャン・パルディ、R.Romero、M.Thai◆ひたちなか合気会＝阪本智恵美、内田智子、照沼克美◆浦帆道場＝三浦めぐみ◆沖縄合気会＝玉城文雄◆群馬合気会＝山田正和◆佐倉合気会＝青木ひかる◆合気道廣心会＝森戸誠照◆合気道石苾塾＝西井なおみ、内田誠三、八木史人◆合気道神戸＝嶋田茂人、野田和利◆大湊道場＝竹森末五郎◆川越道場＝高橋正典◆大阪武育会＝塚本大吾◆神武塾＝崎山善久◆合気道光道場＝鈴木孝幸◆合気道広沢塾＝柳沼秀郎◆東海大学望星学塾＝浅井結◆AUSTRALIA＝S.Pearce、W.Young、J.Giovinazzo、M.Aitken◆CANADA＝C.Hayward◆MOROCCO＝A.Ouarda◆FINLAND＝T.Minkkinen、H.Miettinen、S.Ohtonen◆U.S.A.＝J.Paul◆SERBIA＝B.Jelic◆SPAIN＝F.Balbin、J.Ginoves、L.Miguel◆ISRAEL＝I.Vaiman

【参段】

◆住吉塾＝佐藤元◆ひたちなか合気会＝佐々木美樹、見田健介、石川靖、服部功三◆一宮合気会＝安達充兼、鈴木純子◆桶川愛気会＝尾澤透◆戸田市スポーツセンター合気道教室＝郷西理明◆合気工房宮古塾＝平井亮吉◆深川合気会＝湯田昇◆神武館＝南端晃、森俊輔、松原文彦、巻藤寛◆川越道場＝栗原成子◆大県神社合気道同好会＝今瀬巨◆大阪合気会＝の場俊久、玉中豊治◆竹豊館＝林秀彦◆和光明心会＝川尻英樹◆よみうりカルチャー八王子＝左雄史◆池袋齊藤道場＝勝田光則、一ノ瀬宏、今田修示◆明治神宮至誠館＝P.Asimakopoulos◆神武塾＝魚谷典主◆合気道光道場＝大澤綾乃、石田恵理◆我孫子合気会＝花野勝、横山高弘◆丹波道友会(福知山道場)＝兒島裕之◆AUSTRALIA＝A.Last、A.Beutel、B.Webster、M.Gonsalves、D.Whyatt、R.Head、S.Stewart、J.Bree◆IRAN＝M.Nejad◆SWEDEN＝H.Kivikero、J.Segerholm◆CANADA＝M.Sabile◆PHILIPPINES＝E.Pobre◆MOROCCO＝Y.Tanane、M.Bafit◆NETHERLANDS＝M.Hrehovcsik、A.Rilliard、E.De◆SPAIN＝A.Gonzalez◆ISRAEL＝N.Raviv、A.Letyago◆MEXICO＝A.Ocampo、C.Cervantes◆GERMANY＝B.Schultz、V.Kantzara

【二段】

◆本部道場＝高橋吏、鎌田有紀、木原一、加藤沙織、セルゲイ・コトフ、O.Morvan◆友志館＝相田吉輝◆青山会＝小林碧、山宮通弘◆ひたちなか合気会＝高橋将太◆一宮合気会＝井戸茂治◆浦帆道場＝小倉和行◆合気練成会＝芝川豊◆自在館＝北山聡◆合気道廣心会＝川村悟◆合気道小金井同好会＝藺田くみ子◆合気道石苾塾＝塚本良光、殿岡孝則、高瀬京佳◆合気道神戸＝本間実◆大湊道場＝曾我強◆川越道場＝寺橋俊二、高橋健、川口雄嗣◆大阪合気会＝長谷川博、吉田高◆大阪道友会＝坂倉未来◆大阪武育会＝細川絵美、山崎美喜◆竹豊館＝丸山誠二◆中野

区合気道会＝田村清子、島崎寿見子◆よみうりカルチャー八王子＝黒澤芳雄、金原司恭◆富山合気会＝松崎千春、齊藤鮎子◆池袋齊藤道場＝鈴木栄、伊藤博司、千手健史◆明治神宮至誠館＝T.Doubleday◆緑が丘合気会＝樋口祐子、宇都木尚美◆神武塾＝鎌田智存、池田領◆合気道光道場＝寺本典子◆命炎塾＝柏里佳、君塚梨沙、常世田将希◆今治合気道教室＝新居田信也、藤原輝◆我孫子合気会＝平涼一◆美陵会＝小山博文◆池袋合気道同好会＝鈴木健史◆神戸大学医学部＝鉄本章、高橋園子◆大阪教育大学＝大橋紋香◆大阪府立大学女子合気道部＝田中璃子◆大東文化大学＝田口瑛◆東京経済大学＝松岡美結、近藤翔太、羽部仁士、鈴木寛也、奥本紘大、本田高大、浅田柊人、中崎貴文◆日本女子大学＝諸口友美◆日本大学生物資源科学部＝伊藤大地、浦崎美有◆東京都市大学＝佐藤行真◆法政大学＝加藤真英、安藤海斗、赤澤智史、設楽知仁、武部岳、寺門由香、山口隆史◆日本大学合気道部＝安部孝央◆名古屋大学＝山口剛広◆明治大学体育会合気道部＝田中憲吾、飯田富士夫◆立教大学＝藤井千絵、鈴木雅也、宮崎輝、川畑康隆◆立正大学＝天野卓郎、山崎優佑◆國學院大學＝小泉茜、清水茉依、三宅将太◆釧路公立大学＝伊原貴哉、木村友則、吉田濤、小路行彦、三上優人、渡辺励◆電気通信大学＝鈴木雄祐◆FRANCE＝N.Francois◆PHILIPPINES＝A.Jaiyari、D.Diaz、A.Corpuz◆AUSTRALIA＝J.Robbins、L.Tuleja◆IRAN＝A.Ahmadi、M.Ghandali、A.Entezar、H.Tafti、A.Harsini、S.Rahmanian、M.Saeid、O.Ghaemmaghami、S.Niasar、A.Sazande◆SWEDEN＝J.Carlsson、A.Lund、M.Kanerva、F.Carlson◆MOROCCO＝N.Bensalim、A.Aannaque、A.Boulalla、H.Tarik、H.Elamouri、N.Cheddad、H.Alami、C.Abderrahim◆FINLAND＝M.Kemppainen◆BELGIUM＝J.Hendrix、A.Saeremans◆U.S.A.＝B.Salejda、P.Lasota、M.Zalewski◆RUSSIA＝V.Filipov、Y.Raduntsev、E.Filonova、D.Filonov◆SERBIA＝B.Savic◆SPAIN＝F.Seara、S.Baena、J.Sanchez、J.Toribio、P.Granja◆ISRAEL＝M.Smus、T.Shechter、L.Chernyak、B.Konnikov、I.Romano、Y.Isbi、O.Viginy、I.Istratov◆TUNISIA＝G.Amine◆GERMANY＝A.Henze、M.Loos◆SWITZERLAND＝A.Cybulski◆KYRGYZSTAN＝A.Asanova、L.Sobolina、I.Kasymov、S.Sharshenaliev◆BRAZIL＝F.Neto◆URUGUAY＝G.Chirione

【初段】

◆本部道場＝光井清、梅山吾郎、近藤聖子、吉岡直樹、野田暁美、荒木一方、山田奈緒美、佐藤芳樹、田中徹、V.Cafasso◆瀧田塾＝大伴正人◆住吉塾＝安藤幸枝◆よみうりカルチャー川崎＝佐藤史朗◆春風会＝昔佳代子、藤田裕◆ひたちなか合気会＝福田忠夫◆水戸合気会＝蔵本孝浩、小林星耶◆沖縄合気会＝八木幸子、嘉陽めぐみ◆群馬合気会＝中田芳子、本

多忠◆月窓寺道場＝酒井貴義◆合心館谷本会＝森喜信◆合気道三浦＝前田将◆三河合気道研究会＝小野晃◆銀座おとな塾産経学園＝吹原加代子◆自在館＝今井悠太、山浦裕蔵◆鹿児島合気修練道場＝松崎達也、牧山賢太◆合気道廣心会＝田中順也◆合気道石苾塾＝伊藤里佳、田中乾一、坂田光司、須藤栄子、小和田浩、田島克宏、杉山由花◆深川合気会＝塚田智子◆合気道神戸＝坂田真理◆神武館＝飯田綾郁、安藤直輝、鈴木悠也◆正心会＝福本菜帆◆大湊道場＝竹森大典◆川越道場＝尾崎潤◆大阪合気会＝久住将史、寺澤秀子、河口慎、竹内誠一、岩崎誠、下畑和隆、松田慶大、松崎重美◆大阪武育会＝山本佳奈、江口真澄◆竹豊館＝佐藤志音、田畑佑◆中野区合気道会＝三浦和風◆和楽会龍昌寺道場＝石原祥太郎、相野田智也◆明治神宮至誠館＝T.Mughal、T.Wanda◆合気道串本道場＝島野羽菜◆神武塾＝澤田和代、湯橋敬一◆合気道南田中道場＝中田規容子◆我孫子合気会＝茨城和朋、竹内秀秋◆清心館道場＝南智大◆道学館＝下林和輝◆塩尻朝日正心会道場＝塩原曜、角太一郎、久保田翔也、丸山暉、丸山昌伸◆丹波道友会(福知山道場)＝渋谷武正◆熊本合気会＝城本力、城本理絵◆足利市民合気道クラブ＝藤田勝良◆合気道楽々倶楽部＝金崎定男◆土浦日本大学高等学校＝古屋匡史、鎌戸敦子◆明德義塾高等学校合気道部＝吳超然◆千葉県立流山高等学校＝半田達也◆愛媛大学医学部＝尾崎智樹、小島奈々、萩森理江、曾我部裕文、佐伯綾香◆相模女子大学合気道同好会＝比志島悠妃◆愛知淑徳大学＝岩田あゆみ◆愛媛大学＝河村孝介、黒瀬晴香、安田幸祐、林柁希、津田祐輔◆関西学院大学体育会合気道部＝植野友貴◆駒澤大学＝辻山未来◆慶應義塾大学湘南藤沢合気会＝三道凱、矢吹弘孝◆広島修道大学＝沖本かれん、山縣和也◆弘前大学＝鹿内優澄、奈良岡周作、木村祐貴◆甲南大学＝大野敬介◆国際武道大学＝井上祐士郎◆城西大学＝田中太平、榎本智、加須我僚、肥田野奨、穴山翔一、西田智貴、佐々木悠◆信州大学＝藤田啓介、佐藤拓也、石井真範、田口香穂、石井優佳里◆神戸大学医学部＝加古優香、山田真士、大王はるか◆大阪府立大学女子合気道部＝富田裕子、田中果織、小林史歩、山田桃花、角井鈴佳◆大阪大学体育会合気道部＝塩路雄大、深谷健、渡邊健太、小田妃美◆大東文化大学＝林孝輝◆中央学院大学＝福田洸◆東海大学＝谷口庸太郎、山口大貴、北村菜、河合晃人◆東海大学望星学塾＝長谷川雅子、船越節夫◆東京外国語大学＝藤谷実央◆東京女子大学＝波山晴香、神森悠生◆東京農工大学＝桜井晴子、平井亜沙美、吉野愛美、奥村恒◆東京理科大学久喜＝小林宗嵩◆東京理科大学神楽坂＝吉川健太、湯川暉典、羽村浩希◆東京理科大学野田＝小堤悠生、田中翔大、村田美美、塩野香菜子、森山雄太◆東北大学＝戸田駿介、藤後貴也、角田和俊、鈴木慎太郎、徳田慎平、浅見慶志朗、松本宗◆二松学舎大学＝塚田晶子、飯嶋さゆり◆日本女子大学＝巻島優夏◆日本大学生産工学部＝飯笹友子、川合貴裕、早野恵利◆日本大学生物資源科学部＝市瀬

魁竜、大内優美、大崎十夢、栗本尚樹、小柴ゆり◆東京都市大学＝藤岡晃生、築地優、鈴木祐輔、金子拳士◆武蔵大学＝大西美樹◆法政大学＝秋葉加奈子、小笠原修一郎、亀川風砂、田嶋健太郎、中本有哉、馬場貴子、丸山一輝、和田祐佳、鈴木寛人◆名古屋大学＝早瀬裕香、落合聡、野村花江、蓮見伊織◆明治大学体育会合気道部＝中村はな美、石山綾子、松山修平、中井翔◆立教大学＝井上真秀、関浩隆、庄田雄貴、成田康平、須田理紗子、田中李奈◆立正大学＝飯沢諒、高橋里実、早川由夏、三上朋美◆國學院大學＝岩片あずみ◆関西学院大学三田キャンパス合気道サークル＝吉野久幸◆U.S.A.＝D.Caldwell、S.Gonzalez、M.Landvoigt、C.Ross、G.Schneiderman、J.Tabernero、J.Martin、J.Gonzalez◆PHILIPPINES＝山崎直宣、A.Ogues、A.Dosoky、Z.Khathami、M.Mohsin、E.Fallatah、M.Alami、A.Alegre、N.Calo、N.Tolentino、M.Angelos、Q.Clarito、A.Patacsil、R.Robles◆AUSTRALIA＝P.Siblesz、C.Brain、J.Claxton、G.Coombe、R.Iliopoulos、B.O'Connor、C.Schurmann◆DENMARK＝B.Nielsen、J.Madsen、D.Plausinaitis、A.Thomasen◆IRAN＝R.Sharahi、T.Asadi、A.Chazani、S.Chazani、M.Soleimani、R.Javadiniya、T.Jafar、P.Kamali、R.Vazeh、A.Entezar、M.Khezeli、M.Taghdisian、D.Mirzaee、H.Kalhor、A.Ghandali◆SWEDEN＝G.Petersen、C.Haglund、J.Smeij、M.Plyme、F.Bjorhult、S.Nyberg◆CANADA＝I.Bentsianov、E.Josue◆MOROCCO＝M.Manar、T.Mossadeq、M.Smouni、K.Doussi、G.Fabrice、C.Courcelle、S.Marouf、L.Meknadi、C.Omar、T.Youness、C.Jamal、M.Houda、R.Afifa、R.Zakia、M.Abdelilah、C.Abderrahim◆FINLAND＝L.Grishin、M.Kankaanpaa、J.Kivimaki、J.Luoma、A.Makurin、M.Mustonen、T.Puurtinen、L.Rapeli、J.Virtanen、R.Vuorinen◆BELGIUM＝P.Bastings、J.Vanderstuyft、M.Cotte◆RUSSIA＝A.Erkenov、A.Tsalle、S.Debenok、D.Burov、S.Abramov、I.Barinov、Y.Kuksgauz、A.Demin◆NETHERLANDS＝M.Brugman、J.Falkenstein、A.Wieclawski◆AUSTRIA＝A.Jakus◆MALAYSIA＝K.Anwar◆SERBIA＝D.Duknic、N.Saric、J.Babic◆SPAIN＝C.Barrío、J.Cabello、C.Amigo、D.Jara、J.Ugarte、J.Ayala、R.Cogolludo、F.Anibarro、F.Torres、P.Piqueres、U.Turrisa、J.Trivino、P.Mateo、R.Prieto、J.Fernandez◆ISRAEL＝O.Eldar、S.Frank、M.Weisman、Y.Vargas◆TUNISIA＝N.Walid、W.Eddine、G.Kamel、C.Mahmoud◆MEXICO＝A.Fernandez、F.Almendarez、G.Hernandez、J.Carvajal、J.Jimenez◆GERMANY＝J.Krebs◆INDIA＝V.Kumar◆FRANCE＝N.Landsberg、P.Gligora、T.Delaume、E.Loux、L.Fabienne、A.Stephane、H.Marwan、L.Thierry、C.Celine◆THAILAND＝I.Mulder◆KYRGYZSTAN＝D.Akmataliev、A.Perov、T.Sydygaliev、A.Egizbaeva、M.Egizbaeva、B.Mavlynov、G.Moldobaeva、D.Paklin、V.Yakovlev、T.Kimsanov、A.Havazov、U.Jumashaliev、O.Klezov◆BRAZIL＝J.Muinos◆URUGUAY＝R.Rosa、M.Pedraza